

事業計画の概要

まず令和3年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大が当クラブの活動に大きな影響を与えました。感染対策に配慮して活動を行いました。創意工夫工作教室には延べ1557名の参加を得て541点の作品を完成することが出来ました。「夏休み創意工夫工作作品展」には約700名のクラブ員や保護者の方が来場され展示作品を熱心に見学いただきました。しかしながら令和3年8月下旬から新型コロナウイルス第5波の影響が拡大したため約1か月間クラブを閉鎖しました。このような厳しい状況下でも各種コンテストへの参加を積極的に行い優秀な成績をおさめました。

- ・ あいち少年少女創意くふう展 2021 では、2位特許庁長官賞、4位愛知県知事賞、8位発明協会会長奨励賞、9位愛知県発明協会会長奨励賞など7点入賞しました。
- ・ 第52回市村アイデア賞で全国4位朝日小学生新聞賞、市村アイデア賞奨励賞6点他16点を受賞することが出来ました。
- ・ 初めて参加した日本弁理士会☆かがやけ未来発明アイデアコンテストにおいては全国1位最優秀賞と全国2位優秀賞さらに特別賞を受賞しました。
- ・ 第4回樫尾俊雄発明アイデアコンテストで発明記念館賞（全国2位）、審査員特別賞（全国4位）3点を受賞しました。
- ・ 第80回全日本学生児童発明くふう展：奨励賞2点、入選1点。
- ・ 第24回「エネルギー利用」技術作品コンテスト：全国1位日本産業技術教育学会会長賞、全国3位日本産業技術教育学会優良賞3点入賞。

令和4年度の事業につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染防止に十分配慮し環境変化に対応しながら慎重に活動を行います。運営費の主原資はトヨタグループ各社からのご寄付に加え、刈谷市からの補助金および一般財団法人石田退三記念財団や地元企業等からのご寄付となっております。コロナ禍にもかかわらず会員数は増加し日本一の規模となっておりますが、単年度ごとの収支バランスを極力保つようにして経営の健全化を進めます。

当財団の設立目的であります「次代を担う児童又は青少年に対し、科学技術に関する興味・関心を喚起すると共に、創造活動を通してアイデアを実現する喜びを体験させることにより、創造性豊かな児童又は青少年の育成に寄与する」ことを推進するため、事業のより一層の充実を図ります。

以下、令和4年度の事業計画内容を説明します。

1. 刈谷少年少女発明クラブ事業（刈谷市以外の希望者も受け入れ）

（1）工作技能育成教室：（一人当たり年間10講座）1講座3時間

小学2年生から中学3年生までを学年別クラス編成します。

能力に適した材料・道具を使いこなせるようなカリキュラムに沿って紙工作、木工工作及び電気電子工作やプログラミングなどを指導します。

- ・ 基礎コースⅠ（小2）、基礎コースⅡ（小3）

- ・中級コースⅠ（小4）、中級コースⅡ（小5）、中級コースⅢ（小6）
 - ・上級コースⅠ（中1）、上級コースⅡ（中2）、上級コースⅢ（中3）
- 新型コロナウイルスまん延で休講した場合に備えて、オンライン授業のため持ち帰り教材や製作方法動画の作成を進めます。

(2) 入門コース（一人当たり年間10講座）1講座2時間

刈谷市施設「夢と学びの科学体験館」で小学1年生を対象に、紙工作中心の講座を年間一人当たり10回開催します。

(3) 創意工夫工作教室：（土曜日午後・日曜日に開催、何回でも参加可）

子供たちが創造性を発揮させながら自分のアイデアに基づいた作品を作ります。図面作成・材料選択・製作・完成発表までを指導します。

(4) OMコース： ※Odyssey of the Mind の略（世界青少年創造性競技大会）

OMコースとOM特進コースがあります。毎年5月にアメリカで行われる「世界青少年創造性競技大会」へは新型コロナウイルスのため、昨年同様オンラインで行われるバーチャル大会に参加します。

事前に与えられる長期課題とその場で与えられる即興の当日課題を解決し合計得点を競います。そのため約8ヶ月間の訓練で長期課題を創造的に解決完成させます。また当日課題についての想定訓練を行います。また英会話研修、発想法研修、チームワーク養成等も行います。

OM特進コースはOMコースを希望する準備コースとして、小学5年生から中学1年生の希望者を受け入れます。内容は創造力育成訓練と英語による自己紹介練習、プログラミング教育、チームワーク育成等を行います。

(5) チャレンジ創造コンテストコース：

発明協会が主催する全国大会です。新型コロナウイルスまん延のため、2年間中止となっております。本年は出場を目指し活動します。1チームは2～3名。競技エリアにおいて、モータなどで駆動させるからくり機構によりテーマを表現しパフォーマンスを競います。

2. その他協力事業

愛知県経済産業局や刈谷市教育委員会、刈谷市理数大好き推進協議会、愛知県発明協会などからの依頼により出張工作教室を開催します。

3. 指導員研修

カリキュラム開発・指導法習得のためいろいろな機会を捉え、研修に参加いたします。（愛知県や愛知県発明協会が主催するセミナーなどに参加）

4. 広報活動

4-1. 刈谷少年少女発明クラブ機関誌の発行

- (1) 月1回クラブ員活動紹介の「アイデアニュース」を発行します。
- (2) 令和3年度の活動内容をまとめた「記録2021」を発刊します。

4-2. ホームページ

事業内容の詳細を記述した事業紹介、クラブ活動状況、募集情報、入賞作品等を掲載し、子供やその保護者に必要な新しい情報を提供します。

5-1. クラブ員数

令和4年度のクラブ員数は、前年と同数の1,120名の見込みです。

男女比率としては、男性約7割・女性約3割となっております。

内訳

*市外比率19%

学年	新規	継続	令和4年度	(市外)	令和3年度
小1	225	—	225	(28)	240
小2	85	187	272	(41)	238
小3	24	165	189	(45)	220
小4	16	159	175	(43)	141
小5	10	97	107	(18)	126
小6	2	82	84	(24)	60
中1	0	23	23	(8)	42
中2	0	31	31	(9)	31
中3	0	14	14	(1)	21
計	362	758	1,120	(217)	1,119

5-2. クラブ員数推移

平成26年度487名であった会員数は、積極的なPR活動、ロボットプログラミング教育などの先進的かつ魅力的な授業の導入、また各種コンテストでの優秀な成績などが実を結び、令和4年度は約2.3倍の1,120名で日本一の数です。

